

令和8年8月20日

洋光台第一小学校
校 長 千本 恵子 様
副校長 水和 大 様

洋光台第一小学校の通学路におけるアスベスト除去工事について

ガーラ・レジデンス洋光台新築工事
近隣住民まとめ役
横浜市磯子区洋光台〇-〇〇-〇〇
〇〇 〇〇

前略 日頃は児童の安全確保のためご尽力頂いていること感謝申し上げます。

さて、第一小学校の通学路に接する磯子区洋子台三丁目22番6～10号の敷地において、旧邸宅があった敷地が譲渡され、現在、マンションデベロッパーの株式会社FJネクストが本件敷地を所有しています。

今後、本敷地の開発行為を行い5階建て61戸のマンションの新築計画が予定されていますが、その前段階の作業として、通学路に接した擁壁(間知ブロック)の解体工事を行われる予定です。その擁壁の頂部にはナマコ壁(武家屋敷を想起させるもの)が建造されています。ナマコ壁の解体に当たり、事前調査を行った結果、そのナマコ壁にアスベスト含有建材が使用されていることが判明し、ナマコ壁解体工事に先立って、まずは、そのアスベスト除去工事を行う旨の通知が近隣住民にありました(「擁壁解体に伴うアスベスト除去工事について」:添付1)。

漸く令和8年8月18日に、近隣住民に対し、元請け馬淵建設(株)の作業所長及びアスベスト除去専門工事業者の創勝の責任者らが出席の元、洋光台三丁目町内会館においてアスベスト除去工事の説明会が実施されました。

近隣住民の中には、洋光台第一小学校に児童を通わせる家庭、洋光台第一小学校を卒業したばかりの家庭が複数存在していたことから、元請け馬淵建設に対し、「通学路を利用する学童の頭上において、ナマコ壁のアスベスト除去工事を行うことについて、第一小学校にその工事概要の詳細を伝達したのか?」と尋ねました。その際、作業所長らからは、「6月29日及び7月16日に第一小学校に出向いて副校長と面談し、ご理解を頂いた。」との説明をしました(面談内容の詳細:添付2)。

更に、近隣住民が、近隣住民に配布された「擁壁解体に伴うアスベスト除去工事について」と同様なものを面談時に持参し説明したのかと尋ねたところ、第一小学校への説明時には持参せず、口頭で「アスベスト除去工事がある」程度の簡単な説明で済ませていることが判明しました。

説明会の席で、アスベスト除去工事は、擁壁外部に足場を建ててから、9月1日から10月10日に行う予定であるとの説明でした。説明会の際に、近隣住民が工事に当たり周辺住民への注意喚起のために求めた、「アスベスト除去工事中」等の注意看板が突然表示され、第一小学校の保護者の方々及び児童の間に動揺が広がらないように、第一小学校としてアスベスト除去工事に関する事前の情報収集と保護者等への情報提供を検討下さることが、最善ではないかとの議論となりました(馬淵建設が、通学路を利用する児童のご家庭を一軒一軒戸別訪問することは不可能なため)。

なお、情報提供の目的は、アスベスト除去工事期間中は、通学路を利用する児童のご家庭によっては、リスク回避の観点から、当該工事現場に隣接する通学路を通学路から除外し、迂回して通学することを検討・実施する選択肢があることを、小学校側がご家庭に情報提供・周知させることが、現在の社会において最重要と考えたからです(情報提供し、その情報に基づき自己判断すること)。

近隣住民は、説明会の席で、馬淵建設の作業所長及びアスベスト除去の専門工事業者である創勝の責任者に、アスベスト除去時にアスベストが飛散することが無いよう万全の措置を図ることを要請しました。しかしながら、工事に関しては、絶対に安全であると言えないことは、過去の多くの事故事例から明らかなことです。

なお、説明会の席で、近隣住民から馬淵建設の作業所長に対し、再度、第一小学校の副校長を訪ね、アスベスト除去工事の工事概要の詳細を説明することを要請しています。馬淵建設の作業所長から連絡がなき場合は、小学校側が呼び出すなどして情報収集をしておくことが、リスク管理上(後のトラブルを防止するため)重要なことと考えることから、近隣住民代表として、ここに情報提供を致します。

記載内容に、ご不明な点がありましたら、ご照会くださると幸いです(携帯〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)。

草々

注1) 本書簡は、近隣住民が運用している「青空を渡さない会」のホームページ個人情報(公人は除く)を保護したうえで、掲載いたします。

注2) 上記ホームページに公開する目的は、ホームページの閲覧者に第一小学校に児童を通わせる保護者の方が複数いることから、周知するものです。